

FIU JAPAN NEWS

1985.4

No.2



FIU JAPAN 6月発足へ

設立準備会では、六月から FIU, JAPAN としての活動を開始し、六月二日(日)を予定して、発足のイベントを催すことが決定されました。イベント案として、平和展、トークイン、パフォーマンス等が提案されておりますが、さらに多くのアイデア、意見が求められております。

現在メンバーの意志をまとめる為、又「FIU JAPANとは何か」をスックに提示する為の綱領作りが行われており、それが終了次第発足イベントを具体的に企画して行事になります。

綱領、イベントを含め、この芸術作品「FIU, JAPAN」の造形作業に、積極的に皆様方が参加される事を御希望いたします。

設立準備会経過報告

オ三回からオ十一回までの経過を報告いたします。

- オ三回 - 針生一郎氏から提出された創立趣意書案の検討。
- オ四回 - 前半、新たに加わったラジオ・ホームラン(東京、下北沢のフリーラジオ)からその活動内容が紹介され、後半、FIUの課題の一つである教育問題についての意見交換。
- オ五回 - 千葉県の中学校教育論、堀内克彦氏・米岡伴之氏からの教育現場における管理教育の実体報告。
- オ六回 - 若江漢字氏による「ヨーゼフ・ボイス」について。
- オ七回 - 林田茂留氏によるボイスが多大なる影響を及ぼした「ルドルフ・シュタイナー」について。
- オ八回 - 針生一郎氏によるデュッセルドルフ(ドイツ)での「ここから展」ボイスの「対案実現へのアピール」この二つの論文を紹介。
- オ九回 - メンバー間のFIU JAPANへの理解のギャップが表面化し、シュテットゲン筆起のテキストを再検討する事が決定。
- オ十回 - 岸勝正、田淵伴子、若江漢字氏各氏からシュテットゲン・テキストに対する意見が述べられた後、「社会の変革を可能にする論理は何かを中心」に討論され、意志の変革が再認識される。
- オ十一回 - 若江漢字氏による原案 A、堀内克彦氏による原案 B、E.T.A. 舞台に、綱領の作成を始める。

* オ五回とオ六回との間に、「自由国際大学に於ける動き進む」と題された小記事が朝日新聞(夕刊)1984.12.4.に掲載され、新たな参加者を増やした。

● 日本でのFIUの動き

ヨーゼフ・ボイスの来日以後、日本でのFIU活動が、東京、四国、三重、その他の地域のメタの間で活発な動きを見せております。

私個人は、2月、東京のギャラリーズの展覧会の際に、FIU、ボイス、ユタイナー等に対し心を揺り動かされている多くの人達とコミュニケーションが出来て、深い感動を覚えました。

今回紹介するのは、橋本典明氏、三重県の四日市市で独自のFIU活動を行っている方です。以下は、彼による、FREE INTERNATIONAL UNIVERSITY for INFORMATION NETWORK SYSTEM の設立趣旨書内書です。

私がかねてより、医療行為そのものの機能を拡大させる為には、医師と患者が、まず診察という共同作業の場の中で、双方の人間に、ある種の力が必要なのではないかと考えてきました。

しかしながら、ここでいうある種の力とは、私自身にも現段階では文章によって説明する事は不可能なのですが、人間一人一人の強力な意識革命により、必ず会得できるであろうと考えています。(最近米国で、この事にかなり密接な関係があると思われるバイオエシックス(生命倫理)の研究が、注目されてきているという事実を付記しておきます。)

一方私は、ここ数年間の前衛芸術との関わりの中で、作家と観客との関係に非常に興味を覚え、展覧会という行為そのものが、人間がある種の力を得るための意識革命とほぼ同質の行為であるということに気づき、いくつかの展覧会を企画することで人間の意識革命を促そうと試みたのですが、具体的な行為として現在の社会機構にアクセスするためには、いくつかの問題点がでてきました。

そこで、私はその解決策の1つとして、"FREE INTERNATIONAL UNIVERSITY for INFORMATION NETWORK SYSTEM"を設立致しました。尚、私のこの活動の趣旨は、自分自身も含めて現在我々人間に、最もその扱い方の是非が問われている「情報」というものを、自分なりに解体し、その時々「思い」を、よりリアルタイムに近い「企画」という形で社会機構にアクセスさせ、自分自身をもその「動き」の中にリンクさせてゆく事であり、来るべき21世紀にむかい、「企画」という行為そのものが、人間の生存行為と同様に、社会機構のなかに成立し、それがよりダイナミックに展開してゆく事で、すべての人々のより高度な意識革命につながるのではないかと考えています。

最後に、今回に関しましては、昨秋の私の渡欧の際、このプロジェクトに対して協力を快諾して下さったJOSEPH BEUYS氏をはじめとする数多くのヨーロッパ文化事業関係者、加えてヨーロッパFIUの膨大な情報網の協力によって、はじめてランニングできました事を、感謝の意を込め、謹んでここに銘記致します。

● 会費システム

FIU JAPAN 設立準備会参加者の方々から、会場・通信費、その他の必要経費として毎月 ¥500 と規段階決定しております。

● FIU 関係書物紹介

- 自由国際大学 *ユネスコ・ネットウットゲン* 著 人智学出版社 (必読)
- エコロジとセオリズム
- 季刊 *クライス*・冬号 創生氏の FIU に関する文章掲載

● 次回 FIU JAPAN 設立準備会日

- 5月6日 (月)
- 5月19日 (日)
- ~~4月21日 (土)~~ 神宮若匠民会館 PM 6 ~ 9:15

● セミナー研究会

- 4月20日 (土)
 - 4月29日 (月)
- 神宮若匠民会館 PM 6 ~ 9:15



* FIU JAPAN に強い関心をお持ちの福岡県久留米市の木塚忠広氏の個展が「セザンヌさんには、は！」と題して 4月9日～4月14日 久留米石橋美術館 (AM 9 ~ PM 5) 開催されます。木塚氏の福岡での御活躍を祈ると共に、皆様方の御観覧を希望いたします。



* FIU JAPAN NEWS スタッフ 連絡先

- 杉樹武志・桂子 ^{F158} 世田谷区上用賀2-3-1-1008 Tel (03) 429-9603
- 守谷訓 ^{F151} 光 三鷹市深大寺3914 1302ELIM11203 (0422) Tel 31-9774

The best wishes for you and your action

(Handwritten Signature)
(Hakan Dinekli)

* FIU JAPAN NEWS (通信) まで、皆様の御意見、御投稿を希望いたします。